※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４	年次	２～３
使用教科書	詳説世界史（山川出版社）						
副教材等	詳説世界史図録 第５版（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史を学ぶことで、国際社会で主体的に生きるための見方・考え方を養うことができます。広い視点を持てるよう、一緒に学習していきましょう。
・教科書・資料集を中心に授業を進める予定です。皆さんが興味を持てるように視聴覚教材を用いながら楽しく学んでもらえたらと考えています。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
①世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
②世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、相互の関連や現代世界のとのつながりなどに着目して、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界のとのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	文明の成立と古代文明の特質	文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 南アジアの古代文明 中国の古代文明 南北アメリカ文明	a：都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質やメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 b：自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義や当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響をなど多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	中央ユーラシアと東アジア世界	中央ユーラシア 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成	ａ：秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。 ｂ：図像資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	南アジア世界と東南アジア世界の展開	仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開	ａ：南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 ｂ：地図などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 ａ：インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において文化がどのように展開したのかを理解している。 ｂ：それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことを踏まえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	西アジアと地中海周辺の国家形成	イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家 ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展	ａ：アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。 ｂ：図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	イスラーム協の成立とヨーロッパ世界の形成	アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成	ａ：イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 ｂ：イスラーム政権の拡大を示す地図など図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
後期	イスラーム教の諸地域への伝播と西アジアの動向	イスラーム教の諸地域への伝播 西アジアの動向	ａ：アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒の連携が維持されたことを理解している。 ｂ：トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジア社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)

※令和４年度以降入学生用

	ヨーロッパ世界の変容と展開	西ヨーロッパの封建社会とその展開 東ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパ世界の変容 西ヨーロッパの中世文化	ａ：ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向や封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きについて理解している。 ｂ：西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート （プリント）
	東アジア世界の展開とモンゴル帝国	アジア諸地域の自立と宋 モンゴルの大帝国	ａ：モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 ｂ：モンゴル帝国成立の世界的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート （プリント）
	大交易・大交流の時代	アジア交易世界の興隆 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	ａ：ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 ｂ：ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート （プリント）
	アジア諸帝国の繁栄	オスマン帝国とサファヴィー朝 ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域	ａ：オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかや、清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴及び周辺諸国との関係について理解している。 ｂ：オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係や清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート （プリント）
	近世ヨーロッパ世界の動向	ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の成立 オランダ・イギリス・フランスの台頭 北欧・東欧の動向 科学革命と啓蒙思想	ａ：ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響、北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。 ｂ：ルネサンスの新しさと古さ、宗教改革の動きが広まった要因、ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：各節について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート （プリント）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度